

第2回周南市まちづくり総合計画審議会（第3部会）会議録

日 時 平成26年8月6日（水） 14時30分～17時10分

場 所 市役所本庁舎（第1会議室）

出席者 ・委員 10名（敬称略・名簿順）

松田富雄・山田 智・藤村和義・佐藤英樹・近間純栄・山本 淳・藤田純那・
目山直樹（部会長）・片山寿世・山崎勝幸

・事務局（政策企画課）3名

原田課長・有間企画担当係長・山本主任

議 事 ・基本計画（分野別計画）について

会 議 議 事 録

1 議 事

（1）基本計画（分野別計画）について

- 分野別計画の基本施策について、各担当部署が説明・質疑応答

詳細：「まちづくり総合計画審議会第3部会第2回会議（2014/08/06）発言概要」の
とおり

（2）その他（次回の部会について）

- 日程等

日時：8月22日（金）14時30分～

場所：市役所本庁舎（第2応接室）

- 基本計画（分野別計画）の審議内容

「7-5 中心市街地の賑わいの創出」

「7-6 商業の振興」

「7-7 工業・新産業の振興」

「7-8 企業立地と就業支援の促進」

「7-9 産業基盤の整備」

「7-10 観光・コンベンション等による交流の推進」

まちづくり総合計画審議会第3部会第2回会議(2014/08/06)発言概要

6-1 生活道路の整備の促進	
【P.67】 道路の整備に対する満足度	
不満の要素が約3割となっているが、日常の道路整備の業務で、市民からどのような声があがっているか。	
回答	【道路課】 日常通行する人からさまざまな声があがっており、道路の穴や側溝のふたの老朽化等、維持管理に関する要望が多い。今後も予防保全に努めて、全体経費を抑え、必要な所に措置できるようにしたい。
【P.68】 生活道路の整備の促進	
バリアフリー化の取組みとともに、通学路の安全対策も記載すべきでは。	
回答	【道路課】 「市内全域の市民生活に密着した生活道路」に包含して表記している。
【P.68】 橋りょう維持事業	
古川跨線橋は、以前から渋滞や老朽化で問題となっている。今後の方針は。	
回答	【道路課】 補修等に対応している。JRの敷地内の工事となるため、協議の上進める。
6-2 交通環境の充実	
【-】 全体の構成	
モビリティマネジメントの概念がないため、人の移動をどう捉えてどういったサービスにつなげるかの視点が足りない。 利用者側の視点に立った「交通基本計画」を策定し、その数値を基に議論を進めてほしい。	
回答	—
【P.70】 生活交通の確保・維持・改善	
駅周辺整備を進めて交通拠点をつくるという中で、バス路線の位置付けを記載しないのか。	
回答	【生活安全課】 平成27年以降に策定する、新たな生活交通計画の中で示す。 【政策企画課】 基本施策「7-5 中心市街地の賑わいの創出」の「各交通機関の連携強化など」で記載している。
【P70】 大津島～徳山航路改善計画	
コンベンションの観点で、訪れやすい島であってほしいという思いがあるが、この個別計画に記載されているのか。	
回答	【生活安全課】 大津島巡航株式会社の経営改善に関わる計画であるため、委員の質問に関する記載はされていない。 【政策企画課】 基本施策「7-10 観光・コンベンション等による交流の推進」の「都市農山漁村交流の推進」で記載している。
【P.70】 生活交通の確保・維持・改善	
ノーマイカーデーが公共交通の利用促進につながるのか。その日だけ公共交通機関を使うだけで良いのか。	
回答	【生活安全課】 まずは公共交通機関を利用してもらい、それをきっかけに促進につながれば良い。 引き続き、JRや防長交通などと連携して、イベントなどを通して利用を呼び掛けたい。
【P.70】 生活交通活性化事業	
新たな交通システムとは、どういうものをイメージしているのか。	
回答	【生活安全課】 地域のニーズに合った交通システム(乗合タクシー等)を検討しながら導入したい。

6-3 緑の空間の創造

【P.71】 実施した主要施策・事業等

京都大学フィールド科学教育研究センターがほとんど利用されていないので、もっと宣伝してほしい。また、永源山公園の樹木に、品種名の表示ができないか。

回答 【公園花とみどり課】
市内の公園には、公園愛護会などの活動により、樹名板が設置されたところもあるが、永源山公園については同様の要望もあることから、具体的な取り組みについて検討したい。

【P.72】 公園・緑地の整備の促進

市内には、それ以外の緑地があると思うが。

回答 【公園花とみどり課】
市内には、都市公園163カ所、普通公園3カ所など多くの公園があるが、各公園の特性や地域のニーズに基づく整備や改修を進めたい。

【P.72】 公園・緑地・街路樹の維持管理の促進／緑化の推進

「公園愛護会結成団体数」「都市緑化関連行事参加者数」を目標指標するのは、分かりづらい。

回答 —

6-4 快適な居住環境の整備

【P.75】 快適で安全なまちづくりの推進

地籍調査の目標値は具体的に示せないのか。

回答 【都市計画課】
現状が16.4%(全国:約51%)と着実に進めてはいるが、低い進捗率であるため、調査面積で示せるか検討する。

【P.75】 快適で安全なまちづくりの推進

市街化調整区域についての記載がないが、どのような扱いになっているのか。

回答 【都市計画課】
基本的には総合的な土地利用として考えているので、特に明記はしていない。
中山間地域や林業などの視点で、それぞれ分野別に記載している。

【P.75】 土地区画整理事業の推進

現在実施している2つの事業が完了した後、次にどこかで実施する計画があるのか。

回答 【区画整理課】
実施に向けた計画はないが、民間の組合施工などが進む予定。

【P.75】 住生活の安心・安全・安定の確保

「住生活基本計画」は、住宅マスタープランの計画期間終了に伴う計画か。
耐震改修の率を目標指標として記載できないか。

回答 【住宅課】
計画については、お見込みのとおり。
市営住宅などの公共施設の耐震化率は出せるが、一般住宅の耐震化率は、5年毎でないと数値が出しにくい
ため記載していない。

6-5 水道の安定供給と下水道の充実

【P.80】 安全管理の強化

水道・下水道施設を大切にするため、教育分野と連携して、子供たちに水のありがたみを啓発することはできないか。

回答

【上下水道局】

水道週間(6/1～6/7)を中心に、上下水道局職員が小学校に出向き、「水の教室」を開催。今年で13年目となり、今年も8校実施した。親子での啓発を目的に、保護者参観日に合わせて実施している。

【P.81】 汚水処理施設の整備

汚水処理100%は、いつ頃になるのか。

回答

【上下水道局】

施工が困難な箇所がどうしても後になる状況から、時期を示すのが難しい。

7-1 農業の振興

【P.85】 新規就農者等の担い手の確保

新規就農者の目標値が少ないようだが、これでよいか。

回答

【農林課】

国の支援を受けるために必要な認定を受ける人数なので、実際の就農者とは異なる。実際の就農者の人数の把握は難しい。

7-2 林業の振興

【P.88】 現状と課題

市有林の面積などの記載がされていない。規模や取組を明記した方が、市民の理解が得られるのではないか。

回答

【農林課】

検討する。

【P.89】 森林の適正管理

地籍調査の件は記載しないのか。熊毛地域は完了しているが、他の地区も進めてほしい。市有林の間伐も市が模範となって進めてほしい。

回答

【農林課】

基本施策「6-4 快適な居住環境の整備」の中で示している。担当は違うが、全市を挙げて取り組む。間伐についても、関係機関と連携して行う。

7-3 水産業の振興

【P.90】 水産物の振興に対する満足度

漁業従事者でない人たちの評価で満足度を示すのは、違和感がある。必ず記載しなければならないのか。

回答

【政策企画課】

アンケートは、市民に対して無作為抽出で行っているため、当事者をピックアップすると対象者が少なくなる。評価の視点を検討する。

【P.91】 水産物の生産拡大

内陸(川)の漁業は入っていないのか。

回答

【水産課】

各漁協で、アユの放流などを行っている。

【P.91】 水産物の消費拡大

この地域の水産物の流通は、地元消費が多いのか。

回 答

【水産課】

地元消費が中心となっているが、広島や下関に出荷している。

【P.91】 水産物の消費拡大

京都の祇園のハモは、ほとんどが周南産か。

回 答

【委員】

周南からの出荷もあるが、すべてではない。

7-4 地域ブランドの推進

【P.93】 地域産品のブランド化

「徳山ふぐ」の命名の際に関与したが、なかなか浸透していない。もっと広報してほしい。

回 答

【農林課】

道の駅「ソレーネ周南」を核にPRに取り組んでいる。今後も情報発信に取り組みたい。

【P.95】 水産物ブランドの確立

目標指標として「地元水産物を利用した学校給食数」をあげているが、何を指しているのか。

回 答

【水産課】

250食は、給食センター1カ所についての数であり、それを拡大する取組みである。

【P.95】 水産物ブランドの確立

学校給食に納入するには、規格を揃えなくてはならないので、捕る段階では見込むことが難しい。
今後も取り組むのであれば、農水で給食に取り組んでみては。

回 答

【農林課】

給食の規格やロットなどの条件などを含めて検討したい。